

管理運営状況評価票「1 施設運営体制」

・職員配置

指定管理者 12名（常勤5名・非常勤7名、男性4名・女性8名）

受付・管理	常勤4名 非常勤1名	A番：午前8時30分～午後5時00分 B番：午後1時30分～午後10時00分 C番：午前8時30分～午後2時30分
事業	常勤1名 非常勤3名	A番：午前8時30分～午後5時00分 A番：午前9時00分～午後5時00分 E番：午前9時00分～午後3時30分
警備	非常勤3名	D番：午後5時00分～午後10時00分

管理運営状況評価票「2 施設の維持管理・安全性への配慮」

- ・敷地内の樹木は定期的に剪定作業をし、害虫の発生防止に努めている。
- ・石神井消防署立会いのもと、3施設（えーる、つつじ保育園、石神井町学童クラブ）合同の防災訓練を令和4年11月9日に実施した。新型コロナウイルス感染症防止対策をしながら、マスク着用、話をしないなど注意を払い実施した。（参加者203名）
- ・つつじ保育園と水害を想定した自衛避難訓練を令和4年6月20日に実施した。
- ・複合施設であるつつじ保育園と石神井町学童クラブとの連携・情報共有の為、毎年1回「三施設合同共同防火管理協議会」を開催している。
- ・館内にAEDを常設し電池、パットの定期点検・交換をしている。職員は全員救命講習を受講し、緊急の場合に備えている。（更新者1名受講）
- ・各種掲示物・配架物は概ね次のように分類して情報提供している。
 - 1階ロビー：区内の事業関係と他地域の情報
 - 2階交流コーナー：団体の持込みチラシ
 - 2階女性問題関係女性のための就活応援コーナー：女性の就労関係情報
 - 3階ロビー：えーる事業の案内
- ・カセットレコーダー、カッター等の備品は利用者からの要望を尊重しながら定期的に点検し、必要に応じて新しいものと取り替えている。
- ・備品の故障・破損についてはその都度修繕、購入を行っている。
- ・水回りの清掃は随時実施のうえ、定期点検を実施している。
- ・気象情報を確認し、台風接近時は迅速に排水口など水回り等を点検している。降雪時には転倒防止の融雪剤の散布など、安全確保に努めている
- ・隣接の練馬区立駐輪場跡地に通行人からの吸殻や空き缶の投げ入れがあるため、定期的に清掃し安全維持に努めている。
- ・敷地内の点検を日常から行い、不法投棄がないかなど注意を払っている。
- ・日常的な清掃は、常駐する業者に依頼している。また、定期的に害虫駆除やフロアのワックスがけ、カーペット清掃を行い、館内の衛生に配慮している。
- ・エレベーター、自動ドア、消防機器などを定期的に点検し、安全管理に努めている。
- ・カーテンクリーニングは、1階・3階、2階と分けて隔年で行っている。
- ・ピアノの調律は毎年2回、実施している。利用者の依頼により随時対応している。

- ・廃棄物の減量と再利用の取組については、来館者向けへゴミの持ち帰りをお願いすると共に、ごみ分別を徹底している。
- ・館内の観葉植物の管理を定期的に行っている。
- ・入口花壇の植え替えを定期的に行っている。
- ・デング熱対策に蚊の発生防止のため、殺虫剤を年に数回散布している。
- ・石神井警察署と普段から連携をとり、見回り強化や不審者対策の相談をしている。
- ・和室の押入れ内を定期的に点検・清掃、また座布団のクリーニングを定期的に行っている。

管理運営状況評価票「3 施設特性に応じた管理運営（サービス維持向上）」

- ・新型コロナウイルス感染症予防のため、飛沫防止シート・パネル、手指消毒の館内・各部屋設置、部屋利用団体への除菌作業の協力依頼、受付での利用者カードの記入など、引続き対策を徹底している。
- ・利用者アンケートで出された意見には、できるものから順次早急に対応している。
- ・利用者からの要望でWi-Fi通信環境を視聴覚室・会議室に整備した。オンライン形式の講座開催、施設の利便性向上につながっている。
- ・車椅子、シルバーカーの利用者増が見込まれるため、段差のある保育室と和室の利便性向上を目的として移動用のスロープを設置した。
- ・落下による危険防止のため、駐車場付近のカリンの実を毎年採取している。
- ・年度末に利用者懇談会を開催し、施設利用に関するご意見を直接伺う場を設けている。（令和5年3月実施予定）
- ・敷地内で収穫したゴーヤ・かりん、またラベンターで作ったポプリを窓口で配布し、利用者との交流に役立っている。
- ・見学カレンダーを毎月200部～300部発行している。また、ホームページにも毎月更新し好評を得ている。
- ・団体登録関連の申請用紙を受取る際には、男女共同参画センターの設置目的の説明を行い、出前講座の案内を積極的に行っている。
- ・登録団体からの要望を受け、男女共同参画出前講座を実施している。
- ・職員が以下の研修に参加した。

＜内訳＞

- －衛生推進者養成講習（1名）
- －普通救命講習（1名更新）
- －練馬区危機管理研修（1名）
- －芝大門人権講座（オンライン講座）（1名）
- －「知っていますか性の多様性」講座（1名）
- －ワーク・ライフ・バランスセミナー（オンライン講座）（7名）
- －防火管理者再講習（1名）
- －情報セキュリティ研修（12名）

管理運営状況評価票「4 施設特性に応じた管理運営（事業実施）」

【センター主催講座など】

- ・「子育てママのポレポレ塾」は、コロナ禍において、ひきこもりがちになる母親の孤立感を少しでも

和らげるために6回連続講座とした。受講者からは「託児付きがとてもありがたく、自分にとっても良い時間だった」「自分を客観的に捉えることができ、リフレッシュになった」などの声が寄せられている。母親のストレスを少なくして子どもへの虐待を少しでも防止するためにも、孤立しがちな子育てママ対応講座の必要性を感じている。

- ・社会問題となっている生きづらさを抱え、ひきこもりがちな若年女性を対象とした「わたしのこれからライフ」シリーズは、西東京市公民館、東久留米市男女平等推進センター、一般社団法人ひきこもりUX会議との連携により、居場所づくりとして定着しつつある。地元では参加しにくい、少し離れた地域ならば参加しやすいという当事者たちにとって、各地に居場所ができることが望まれている。
- ・夏休み中に、働く親を支援するために行っている『えーるキッズ・エンジョイサマー』は、プログラミング講座を開催し、キャンセル待ちが多数で参加者の満足度が高い講座である。
- ・国の「女性に対する暴力をなくす運動」期間（11/12～11/25）に合わせて継続実施しているイベント「えーるスクエア」において、オンライン講演会「身近にもある#MeTooー私たちにできることは」を実施した。大学生の参加者も数名おり、幅広い年代の方にご参加いただけた。また、告知方法として、練馬区のLINE配信を依頼した。

また、「愛する人を暴力の被害者・加害者にしない！」という横断幕を3階ベランダ柵に設置し、館内には十文字学園女子大学制作のデートDV防止パネル、センター登録団体キルト、ピンクッション制作のパープルリボンタペストリーを展示したほか、暴力防止のシンボルカラーである紫色のイルミネーションを正面玄関付近に設置し、内閣府男女共同参画局の「パープル・ライトアップ」に参加した（内閣府男女共同参画局ホームページ掲載中）。

その他、期間中に来館した方に、リーフレット『もしかして・・・デートDV?』とセンター手づくりのラベンダーのポプリ、児童虐待防止キャンペーンのマスクなどを配布した。このポプリは、センター3階の庭園などで育てたラベンダーを活用して、ねりま若者サポートステーション利用者の皆さんの協力を得て作っている。若者サポートステーション利用者の中には、このポプリ作り作業をきっかけに自分の特技を見出す方もいたという報告があった。

- ・男性の家事・育児への参加促進として、『お父さんと作るおうちごはん』シリーズは新型コロナウイルス感染症予防のため作ったものを持ち帰る形式として実施した。父子の家事参加による固定的役割分担意識の解消にも一翼を担っている。
- ・40～60代の再就職を希望する女性向けに「人生半ばの女性応援講座『私を生かす就活作戦!』」を実施した。応募書類の作成方法や面接対策等の基本知識のほか、家事・育児も含めた経験を見つめ直し、働く目的の明確化や自身の長所を就職活動に活かす方法を学ぶ内容。申込者が多く、ニーズを感じられるため、毎年継続して実施している事業である。
- ・区民企画講座については、今年度10講座（うち、2講座は2回連続講座）を実施。令和4年12月末までに9講座が開催済み。ただし、昨年度（令和4年3月13日）、コロナ感染予防のために開催中止となった1講座を繰り越して今年度（5月1日）実施した。よって、全11講座を実施することとなる。

<3月までの予定講座>

- ・出前講座「デートDV防止講座」1/13(金)貫井中学校、1/18(水)豊玉第二中学校
- ・就職活動や地域活動をしている女性のための「パソコン講座2022後期」
パソコン初級1/15(日)、ワード1/29(日)、エクセル基礎2/22(水)、エクセル実践2/23(木)、パワーポイント3/5(日)

- ・上映会えーるシネマサロン「アイ. コンタクト～もう1つのなでしこジャパンろう者女子サッカー～」1/20(金)
- ・わたしの「これからライフ」2022Part II 講演会「私の生きづらさ～本当の私を取り戻すまで～」1/24(水)、ゆるヨガ女子会2/5(日)
- ・アサーティブ・コミュニケーション講座～自分の思いを伝える～2/9(木)・2/16(木)
- ・親子で学ぶ生と性講座「カラダとココロの大切なはなし」2/18(土)
- ・区民企画講座「こころのケア講座」2/23(木)
- ・オンライン講座「選択制夫婦別姓を考える～多様な夫婦・多様な家族のあり方～」2/28(火)
- ・LGBTQ+講座～多様な性を知ろう！～3/11(土)
- ・区民企画講座「0歳からのコンサートwithリトミック」3/12(日)
- ・男女共同参画基礎講座～性別や慣習に対する思い込みをなくそう！～3/18(土)

◎その他

- ・はじめてえーるへ来館される方々に向け、ホームページに「はじめてご利用の方へ」「館内案内図」を年度末の新規掲載に向け、新たに作成中で、ホームページの拡充を図っている。
- ・館内展示は、「女の暦」「男女共同参画週間」「女性に対する暴力をなくす運動期間」「国際女性デー」「SDGs」などの男女共同参画に関するテーマだけでなく、国内外のトピックスの展示を実施している。「展示が変わるたびに楽しみにしている」と声をかけてくださる方がいるのは、とても励みになっている。
- ・昨年度に引き続き、一般社団法人ひきこもりUX会議主催の連続講座「カルクナル・スタディーズ2期」の開催(9月～10月実施、全10回)に協力した。参加者の中には、図書・資料室を利用される方もいた。なお、ひきこもりUX会議とはセンター主催講座の講師を依頼するなど相互協力している。
- ・「えーるだより」(2,500部発行)は、今後の講座予定をメインに、参加者のアンケートや講座風景の写真とともに終了講座内容を掲載している。終了講座の報告は、参加できなかった区民へ情報を提供することによる男女共同参画の啓発と考えている。
また、各号に相談室へのアクセス情報や図書・資料室の情報なども掲載し、区民へのセンター情報提供に努めている。

【他団体との連携】

- ・ハローワーク池袋と練馬区の共催事業として、20歳未満のお子さんを持つ方を対象にした「子育て世代の就活講座」、「就職ミニ面接会」を実施した。次年度は、新たに「就活メイクセミナー」を実施予定。
- ・東洋大学の社会貢献活動プログラム「講師派遣事業」を活用した、「コミュニティの活用～人のつながりを重視して～」を実施した。
- ・ねりま若者サポートステーション利用者によるえーるスクエア時に配布するポプリ制作作業は、同センター利用者の興味・関心を引き起こす効果もあり、これまで通りネットワークを継続している。
- ・DV防止週間には、十文字学園女子大学生活情報学科の協力により、パネル「女子大生がイメージするデートDV」を借用し、毎年展示している。